

社会資本整備総合交付金事業

一般県道櫛羅御所線 櫛羅工区

奈良県（道路建設課）

1. 再評価対象事業一覧表
2. 事業評価項目一覧表
3. 説明資料

事業評価項目一覧表

事業名	社会資本整備総合交付金	事業主体	奈良県
河川・道路名等	(一) 櫛羅御所線	事業箇所	櫛羅
評価項目及び評価内容			
<p>事業の目的及び必要性</p> <p><input type="checkbox"/> 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域観光の活性化 ・ 走行性、安全性の向上 <p><input type="checkbox"/> 必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅員狭小 ・ 歩道未整備 <p style="text-align: right;">(P. 4・5)</p>			
<p>事業策定の経緯</p> <p><input type="checkbox"/> 当時の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道24号から観光地葛城山への観光アクセスルートであるが、円滑な通行および安全面に課題を有している。 <p><input type="checkbox"/> 着手までの経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成7年度事業着手 <p style="text-align: right;">(P. 3～6)</p>			
<p>事業の効果(費用対効果や施策的な効果など)</p> <p><input type="checkbox"/> 計画時の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幅員狭小区間の危険なすれ違い減少、歩行者の安全性向上 <p><input type="checkbox"/> 現時点の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B/C = 1.2 <p style="text-align: right;">(P. 4～6・8)</p>			
<p>事業の進捗状況(着手時からの社会経済情勢の変化、事業の問題点、克服度など)</p> <p><input type="checkbox"/> 進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業進捗率：77.9% 用地買収率：90.3% <p><input type="checkbox"/> 執行の遅延及び原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用地取得の難航 ・ 地図混乱 <p style="text-align: right;">(P. 6)</p>			
<p>事業進捗の見込み</p> <p><input type="checkbox"/> 進捗の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用地難航地の地権者が事業に協力姿勢となり、平成24年度中の買収完了を目標に進める。 <p><input type="checkbox"/> 進捗の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度事業完了を目標 <p style="text-align: right;">(P. 6・9)</p>			
<p>事業の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用地買収を平成24年度中に完了させ、文化財発掘調査、橋梁工事等を実施し、平成27年度の事業完了を目標に進める。 <p style="text-align: right;">(P. 6・9)</p>			
<p>その他</p> <p><input type="checkbox"/> 関係機関等の意向</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元(御所市)は事業に協力的。 <p><input type="checkbox"/> 関連事業の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無 			

(一) 櫛羅御所線(櫛羅工区)

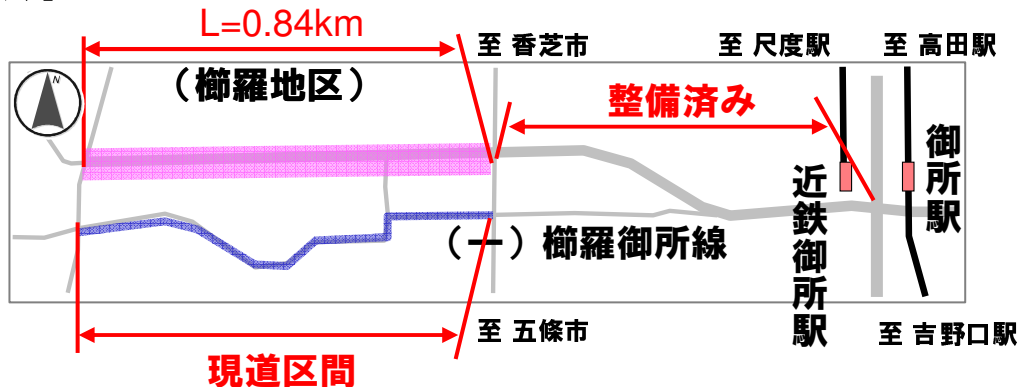
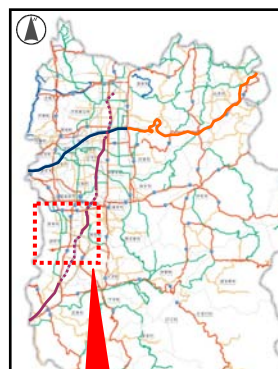
平成 24 年 1 1 月
奈良県土木部道路建設課

目 次

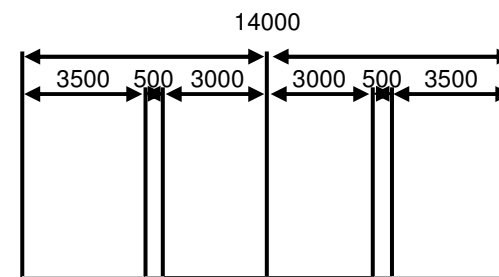
1. 事業の概要
2. 事業の目的と背景
3. 事業の経過及び進捗
4. 事業の費用対効果
5. 今後の方針(案)

1. 事業の概要

◆事業箇所 事業区間 (バイパス)



◆標準断面図



◆事業概要



路線名	一般県道 櫛羅御所線
事業区間	御所市櫛羅
事業延長	0.84km
構造規格	第3種第3級
設計速度	40km/h
車線数	2車線
道路幅員	14.00m
全体事業費	20.4億円
事業化年度	平成7年

2. 事業の背景と目的

◆地域観光の活性化

- ・（一）櫛羅御所線は、国道24号、御所駅・近鉄御所駅から著名な観光地葛城山へのアクセス道路である。
⇒バイパスの整備により、葛城山へのアクセス性が向上
⇒観光客の来訪・帰宅時の走りやすさ、安全性が向上

<著名な観光地葛城山へのアクセス>



<葛城山>



出典: 御所市観光HP

2. 事業の背景と目的

◆走行性・安全性の向上

- ・現道は、幅員狭小区間であり、大型車すれ違い困難、歩道未整備など、円滑な通行面及び安全面に課題を有している。
- ⇒バイパス整備により通過交通が転換し、現道の幅員狭小区間の危険なすれ違いが減少
- ⇒バスや救急車両の走行性が向上
- ⇒歩行者の安全性が向上（通学路にも指定）

<幅員が狭小な現道の状況>



<現道での歩行状況>



3. 事業の経過及び進捗

- ・平成7年度に事業着手
- ・これまで、地籍整備に時間を要し、また、地権者が反対している状況が続いていたが、事業に協力姿勢になったことから、平成24年度中の用地買収完了を目指す。

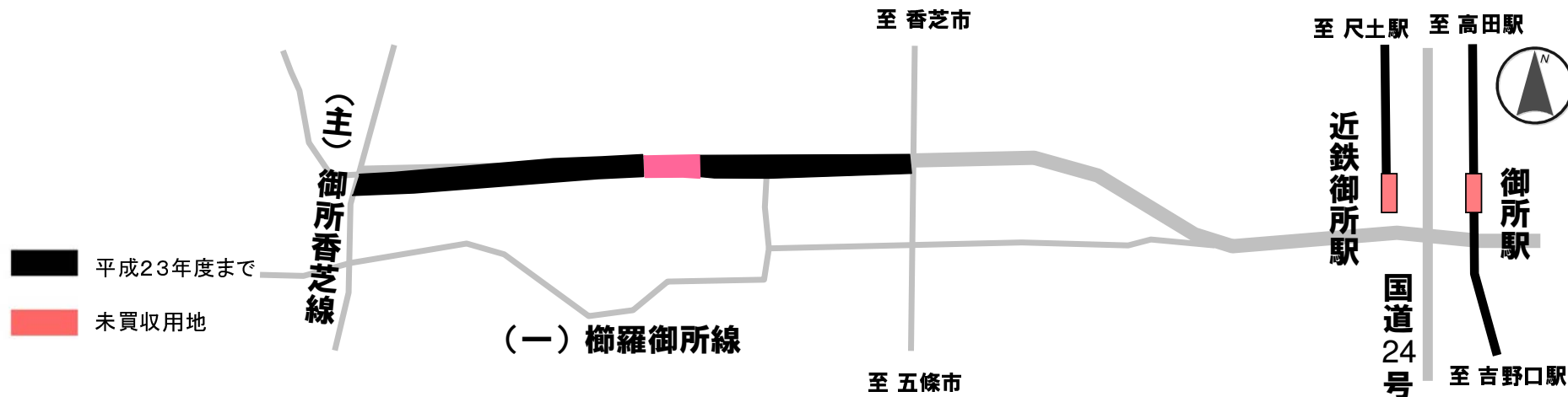
平成 7年度	事業着手
平成 8年度	用地買収着手
平成12年度	工事着手
平成23年度	用地買収難航の地権者が協力姿勢
平成24年度	用地買収完了予定

◇用地買収	進捗率90.3%
◇事業全体	進捗率77.9%

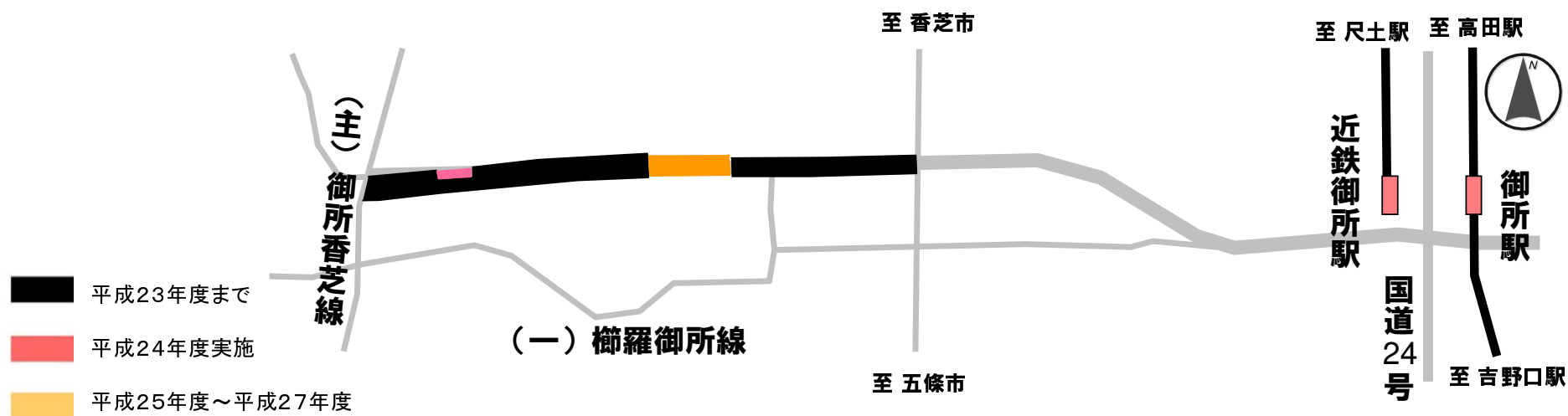
※平成24年9月現在

3. 事業の経過及び進捗

◆用地進捗状況



◆工事進捗状況



4. 事業の費用対効果

◆計画交通量と事業費

計画交通量	6,000台/日
事業費	20億円

◆費用便益分析結果

事業全体	$B/C=1.2$
残事業	$B/C=12.9$

注) B、Cは、評価時(平成24年度)の価値に換算している。

◆便益 (B) の内訳

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益
事業全体	28億円	0億円	0億円

5. 今後の方針（案）

◆方針（案）

- ・国道24号から葛城山へのアクセスルートであり、地域観光の活性化および交通安全の観点から早期整備が必要。
- ・残る未買収用地については、平成24年度中の買収完了を目標に進める。

⇒ 以上の視点から、事業継続が妥当と判断

- ・平成24年度中に用地買収を完了し、概ね3年以内に文化財発掘調査、橋梁工事および側道工事を実施し、平成27年度の事業完了を目指す。

◆コスト縮減

- ・コンクリート構造物のプレキャスト化（道路側溝に特殊円形水路を使用） ⇒ 縮減額 23百万円